

かじや知宏 議員報告

<生年月日>昭和43年9月12日 <年齢>43歳 <出身地>大阪府枚方市 <趣味>読書、スポーツ観戦、神社仏閣巡り <血液型>O型
<経歴>阪保育所→殿山第二小→枚方三中→牧野高→龍谷大→報知新聞社(11年)→枚方市広報課(3年3ヶ月)→行政書士

<市役所>〒573-8666 枚方市大垣内町2-1-20 電話072-841-1221代

<自宅>〒573-0171 枚方市北山1-23-57 電話090-3705-9393

Eメール tomohiro@t-kajiya.com

かじや知宏のホームページ

<http://www.t-kajiya.com>



職員給与の改定 人事院勧告準拠ではなく、市独自の人事・給与制度の確立を

枚方市議会の臨時会が昨年11月30日に開かれ「市職員給与条例等の一部改正について」を審議し可決しました。条例改正の主な趣旨は人事院勧告に準拠した形で市職員の給料表を改定することにより、平均0.23%の引き下げを行うというものです。今回の議案に対して、私の所属する「みんなの党市民会議」と、改革の方向性で連携している「未来に責任・みんなの会」の2会派は、0.23%という少ない削減幅であっても、削減すること自体に異論はなく、討論を通して下記趣旨の要望を行った上で賛成をしました。



<解説> 昨年の国会では、0.23%の引き下げを示した人事院勧告に対して、政府が勧告の実施を見送りマイナス7.8%という削減案を、野党もそれぞれ勧告を上回る削減案を出すなど、国家公務員の給与について議論がなされていました。しかし結局は何も決まらず結論が先送りされ、12月に支給された国家公務員のボーナスは、削減どころか平均4.1%の増額となりました。私は今回の議案に対して、人事院勧告準拠や0.23%という削減幅に不満もありましたが、少しでも削減を実施すべきとの考えから賛成をしました。しかし、税収の減少と扶助費の増加、経済の長期低迷など今後ますます厳しくなる財政状況を考えると、職員給与のあり方がこのままでいいとは決して思いません。市はこれまでも職員の給与等に関しては一貫して人事院勧告に準拠することが望ましいとの立場をとってきました。人事院勧告とは国家公務員の給与等について民間との是正を図るために行われているものですが、勧告の基準となっているのは50人以上の従業員がいる大きな事業所の給与実態です。これまで勧告に準拠して給与を決めてきた枚方市職員の平均給与は約670万円となっており、枚方市の納税義務者の平均給与約460万円とは大きな開きがあります。勧告が枚方市域の民間の給与実態を正しく反映していないのは明らかです。また、公務員は絶対にリストラされないという特権的な身分保障があり、福利厚生や退職金、定年後の再雇用、年金など給与以外の待遇も民間よりも恵まれた環境にあります。今後は以上の点も考慮に入れて、人事院勧告準拠ではなく市独自の人事・給与制度を検討していく必要があります。昨年の大阪W選挙では、大阪維新の会の橋下・松井両候補が、職員の労働組合などの既得権益団体の支援を受けた候補者に大差をつけて当選をしました。閉塞した現状を打破してほしい、これまで既得権益団体に吸い取られていた税金を市民に取り返してほしいという強い民意が示されました。今後はこの民意を重く受け止め、職員の人事・給与制度については、既得権に切り込む大胆な改革を進めていきたいと考えています。

私の議員活動の詳細については「かじや知宏のホームページ」をご覧ください

詳しくは **かじや知宏** で **検索**

twitter @kajiya_tomohiro

携帯電話からも私の活動記録をご覧になることができます→

